

# 会 告

# 社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考								
本 部	11月15日(月) ～16日(火)	第3回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会	11号4ページ参照								
	11月18日(木) ～19日(金)	第12回海岸工学講演会	名古屋市	11号5 〃								
関 東 支 部	11月16日(火) ～18日(木)	第1回電子計算機講習会	東 京	10号7 〃								
	12月 8日(木)	コンクリート混和剤に関するゼミナール	東 京	11号7 〃								
中 部 支 部	10月22日(金)	第1回研究発表会	名古屋市	9号5 〃								
関 西 支 部	11月 6日(土) ～12月 7日(火)	学生映画会	京都市外	11号9 〃								
	11月16日(火) ～17日(水)	第1回見学会	名阪国道	10号11 〃								
	11月26日(金)	兵庫県を中心とする総合開発計画講演会	神 戸 市	11号7 〃								
	11月25日(木) ～26日(金)	人工軽量骨材コンクリート講習会	大 阪 市	10号12 〃								
	11月26日(金)	高い盛土の沈下に関する研究会	大 阪 市	11号8 〃								
	12月15日(水) ～16日(木)	耐震設計講習会	大 阪 市	11号9 〃								
中 四 支 部	12月 1日(水) ～ 3日(金)	中国四国支部大会	山 口 市	11号10 〃								
西 部 支 部	11月26日(金) ～27日(土)	岩石力学とその施工法への応用講習会	福 岡 市	10号12 〃								
そ の 他	11月19日(金)	第12回風に関するシンポジウム	東 京	11号5 〃								
	11月26日(金)	第12回橋梁・構造工学研究発表会	東 京	11号3 〃								
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 昭和40年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集</li> <li>■ 土木学会第21回年次学術講演会実施要領</li> <li>■ 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集</li> <li>■ 第3回理工学における同位元素研究発表会論文募集</li> <li>■ 研究発表会・論文・報文募集(北海道支部)</li> <li>■ 8学会互報欄</li> </ul>			11号2 〃 11号4 〃 11号4 〃 11号6 〃 11号7 〃 11号10 〃								
<h3>日本学術会議第7期会員選挙立候補者の推薦</h3> <p>本年11月25日に行なわれる標記の件につき、理事会において協議の結果、土木学会ではつぎの2名の方を推薦することになりましたのでお知らせ致します(50音順)。</p> <p>有権者はもれなく御投票下さい。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">石 原 藤 次 郎 君</td> <td style="text-align: center;">昭和5年京都大学卒 京都大学教授 専攻</td> <td style="text-align: center;">工学博士 河海工学</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">全国区第5部 土木工学</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平 井 敦 君</td> <td style="text-align: center;">昭和11年東京大学卒 東京大学教授 専攻</td> <td style="text-align: center;">工学博士 橋梁工学</td> </tr> </table>					石 原 藤 次 郎 君	昭和5年京都大学卒 京都大学教授 専攻	工学博士 河海工学	}	全国区第5部 土木工学	平 井 敦 君	昭和11年東京大学卒 東京大学教授 専攻	工学博士 橋梁工学
石 原 藤 次 郎 君	昭和5年京都大学卒 京都大学教授 専攻	工学博士 河海工学	}	全国区第5部 土木工学								
平 井 敦 君	昭和11年東京大学卒 東京大学教授 専攻	工学博士 橋梁工学										

## 昭和 40 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和 40 年 10 月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。

(注) 本年度から表彰制度の改正により、土木学会賞として功績賞、技術賞、論文賞、吉田賞の4賞の表彰を行なうことになりました。

ただし、功績賞については公募いたしませんので別途関係者に推薦方を依頼します。

### ◎土木学会賞候補募集要項

種別 項目	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞
候補 対象	土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績 (例) ○○ 事業の総合技術 △△ 事業の施工 □□ に関する考案	(論文賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたものの。 (論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として 35 才未満であるもの	コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったと認められたものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案などの報告、またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。
受賞候補者	個人または団体	本会の個人会員に限る。 過去の土木賞受賞者は既受賞者とし、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者となることのできないものが含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。	日本に国籍を有する個人または研究グループ。 ただし、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。
候補の期	昭和 39 年 1 月 1 日から昭和 40 年 12 月 31 日までの間にできた業績であって、日本国内において実施されたものに限る。	昭和 39 年 1 月 1 日から昭和 40 年 12 月 31 日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたものその他、他学・協会、大学、官庁、会社などの刊行物に登載されたものなど内容審査に必要な資料の整っているものに限る。	
推薦(応募)の方法	会員、支部、土木事業に関連する学・協会、法人の推薦により別に定める様式による推薦書、候補業績要旨各一部を提出する。 なお、当該業績に関する参考資料を添付することは妨げない。 (推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)	会員、支部、その他一般の推薦または会員自らの応募により別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	会員、支部その他一般の推薦により、別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。
審査	表彰委員会において行なう。ただし審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求められることがある。	吉田賞選考委員会において行なう。
表彰	第52回通常総会において行ない、賞牌、賞状を贈る。	第52回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。	第52回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。
締切期日	昭和 41 年 1 月 20 日		
提出先	東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会表彰委員会	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会論文賞選考委員会	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

### ◎吉田研究奨励金候補募集要項

- 候補対象：コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。
- 募集の方法：日本に国籍を有する個人または研究グループの応募による。
- 研究成果の報告：研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか昭和42年5月下旬施行の第22回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。
- 応募の方法：一定の様式による研究計画1部を提出する。  
(計画書用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)
- 審査：吉田賞選考委員会において行なう。
- 締切期日：昭和 41 年 1 月 20 日
- 提出先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

土木学会表彰規程

(総 則)

第1条 土木学会規則第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(総称)を授与して行う。

- ① 功績賞 ② 技術賞 ③ 論文賞 ④ 吉田賞

(功 績 賞)

第3条 功績賞は、土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められた者に授与する。

(技 術 賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論 文 賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

- (2) 論文奨励賞は、本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、設計、計画、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として満35才未満であるものに授与する。

(吉 田 賞)

第6条 吉田賞はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究工事等を行ったものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(委 員 会)

第7条 土木学会賞を審議決定するため次の委員会をおく。

- ① 表彰委員会 ② 論文賞選考委員会 ③ 吉田賞選考委員会

(2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞および吉田賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行い、土木学会賞受賞候補を決定する。

(3) 論文賞選考委員会は、論文賞候補の選考を行う。

(4) 吉田賞選考委員会は、吉田賞候補の選考を行う。

(5) 前記各委員会の構成、運営その他については別に内規で定める。

(表彰の時期、方法)

第8条 表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与する。

構造物における高張力鋼とその接合に関する研究発表会

◀ 11月26日(金) ▶

—— 第12回橋梁・構造工学研究発表会 ——

1. 共 催：日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会，土木学会，日本建築学会（幹事学会）
2. 日 時：1965年11月26日（金）9.30～16.10
3. 会 場：日本建築学会会議室（読売本社隣 建築会館3階）東京都中央区銀座西3-1
4. 会 費：聴講無料 講演概要：会場で実費頒布
5. プログラム：本誌50巻10号5～6ページ参照

## 土木学会第 21 回年次学術講演会実施要領

第 21 回年次学術講演会は 1966 年 5 月 28 日（土）、29 日（日）の両日、札幌市北海道大学において開催することになりました。

講演申込み・その他は、下記のように決まりましたのでお知らせします。

### 記

1. 応募要領は期日および先を除いてほぼ昨年のおりとする。
2. 各部門とも研究論文の一部または全部を一般報告に付する。すなわち、同じ種別の論文数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。質疑討論の応答には各著者があたる。  
講演概要の記述にあたっては、一般報告者がこの概要にもとづいて報告することを予想し、必らずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。  
一般報告を行なう論文は本部で定める。
3. 講演概要集は、あらかじめ参加者に送付する。発送日は 4 月 30 日とする。
4. 講演題目および著者名等の申込締切期日は、学術講演係（札幌市北 12 条西 8 丁目 北海道大学工学部土木教室 尾崎 晃教授）あて 1966 年 1 月 15 日まで必着のこと。
5. 講演概要の提出締切期日は学術講演係あて 1966 年 2 月 28 日まで必着のこと。
6. 講演会の実施日時：1966 年 5 月 28 日（土）13.00～17.00、29 日（日）9.00～17.00
7. 実施場所：北海道大学

## 第 2 回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和 39 年秋、創立 50 周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広く PR せんとするものであります。「第 2 回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。

なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

### 第 2 回 国 土 開 発 映 画 コ ン ク ー ル 要 領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格：16 mm カラートーキー（上映時間 20 分以上）
3. 審 査：土木学会映画審査委員会
4. 賞 格：1 等 1 編 2 等 2 編 3 等 3 編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表：1966 年 11 月 24 日（土木学会創立記念日）
6. 締 切：1966 年 9 月 30 日
7. 申 込 先：土木学会事業課あて

## 第 3 回岩盤力学に関するシンポジウム

◀ 11 月 15 日（月）～16 日（火）▶

第 3 回岩盤力学シンポジウムには 11 編の論文が発表され下記の特別講演も行なわれます。多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、講演内容の詳細は本誌 50 巻 10 号 5 ページをご参照下さい。

1. 会 場：土木学会図書館講堂
2. 講演概要集：B 5 判 70 ページの予定 当日会場にて頒布
3. 特別講演：

11 月 15 日	13.20～14.00	青函トンネルその後の調査について
11 月 16 日	11.30～12.10	奈川渡ダムの岩盤試験について
11 月 16 日	13.10～13.50	岩石の変形に関する力学理論について

日本鉄道建設公団	柏 谷 逸 男
東京電力	水 越 達 雄
東大地震研	南 雲 昭 三 郎

## 第 12 回海岸工学講演会

◀ 11 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金) ▶

第 12 回海岸工学講演会は下記の日程により名古屋市で開催いたします。今年の講演数は 39 点を数え、非常に盛会が予想されますので多数ご参加下さい。なお、講演集ができ上りましたのでご希望の方は学会へお申込み下さい。なお、当日会場でもおわけいたします。

1. 場 所：愛知県中小企業センター（名古屋市中区堀内町 4 の 31・電 名古屋 56-4121）
2. 講演会：1965 年 11 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金)（詳細のプログラム本誌 50 巻 10 号 6 ページ参照）
3. 見学会：1965 年 11 月 20 日 (土) 9.00 ~ 16.00  
名古屋栄町テレビ塔下集合（9.00） ~ 日光樋門 ~ 鍋田干拓 ~ 名古屋港 高潮防波堤 ~ 日本板ガラス 四日市工場 ~ 四日市港務局 ~ 四日市港 ~ 名古屋駅前解散（16.00）
4. 見学会参加費：500 円（バス代および昼食代）
5. 申込先：東京都新宿区四谷 1 丁目土木学会海岸工学講演会係（注：参加者多数の場合は申込受付順とします）
6. 講演集：B 5 判 258 ページ 8 ボ 2 段組 活版印刷 定価：1500 円 送料：100 円

## 第 12 回風に関するシンポジウム開催

◀ 11 月 19 日 (金) ▶

下記により標記シンポジウムを開催いたしますからふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 会 場：気象庁講堂（東京都千代田区大手町 1 の 7）
2. 共催学会：日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会・幹事学会 日本地理学会・土木学会

### 3. プログラム

- |                        |  |  |
|------------------------|--|--|
| 9.30 ~ 9.40            | 開会のことば                                 |  |
| 9.40 ~ 9.55            | (1) 東京湾沿岸の偏形樹と海風                       | 東 教 大 榎 根 勇                            |
| 9.55 ~ 10.10           | (2) 横断する風によって生じる谷の中の渦の構造               | 東 教 大 吉 野 正 敏                          |
| 10.10 ~ 10.25          | (3) 地形模型実験の乱れの影響                       | 気 象 研 相 馬 清 二・江 口 博                    |
| 10.25 ~ 10.40          | (4) 風向別気象要素の統計                         | 原 研 今 井 和 彦                            |
| 10.40 ~ 10.55          | (5) 地面付近の風の垂直変動と風向変動                   | 気 象 大 岡 本 雅 典                          |
| 10.55 ~ 11.10          | (6) 乱流境界層内の熱拡散                         | お茶ノ水女大 坂上 治郎・加藤真規子                     |
| 11.10 ~ 11.25          | (7) 湖面からの熱の鉛直輸送の相似理論                   | 気 象 庁 横 山 長 之                          |
| 11.25 ~ 11.40          | (8) 風波の発生における大気と海とのエネルギー過程             | 電力中研 日 野 幹 雄                           |
| 11.40 ~ 11.55          | (9) 位相差方式による超音波風速・温度計について              | 気象研 奥田 穰・根本 茂・当倉万寿夫・沖電気 宮沢 久・清水良次・徳川 昭 |
| 11.55 ~ 12.10          | (10) 超音波風速計に関する日米協同観測について              | 京大防災研 光 田 寧                            |
| 12.10 ~ 13.00          | 昼 食                                    |  |
| 13.00 ~ 13.15          | (11) モデル風による動的風圧の数値実験                  | 気 象 研 高橋浩一郎・広瀬 元孝                      |
| 13.15 ~ 13.30          | (12) 風による京都タワーの振動                      | 京大防災研 石崎 滉雄・桂 順治                       |
| 13.30 ~ 13.45          | (13) 吊屋根の風洞実験                          | 京大防災研 石崎 滉雄・成 仁 煥                      |
| 13.45 ~ 14.00          | (14) 風により振動する二つの角柱の相互作用                | 京大防災研 石崎 滉雄・許 昌 九                      |
| 14.00 ~ 14.15          | (15) プラストフェンスに関する実験                    | 京大防災研 石崎滉雄・光田 寧・桂 順治                   |
| 14.15 ~ 14.30          | (16) 風による煙突の振動とその空気力学的防止装置の研究          | 大阪府大 中川憲治 三菱重工 藤野 勉・有田行雄・志摩 啟          |
| 14.30 ~ 14.45          | (17) ランチャー付近の風の影響による小型ロケットの姿勢角および方位角変化 | 航空宇宙技研 戸川 隼人・石黒登美子                     |
| 14.45 ~ 15.00          | (18) オーバーシュートしない風向計の実験と提案              | 東 大 佐 貴 亦 男・木村 茂・林 弘明                  |
| 15.00 ~ 15.15          | (19) 積雪期の空中写真から読んだ新潟県佐梨川流域の風の特性について    | 東 教 大 吉 村 稔                            |
| 15.15 ~ 15.20          | 休 憩                                    |  |
| 15.20 ~ 15.50 (特別講演 1) | モスクワにおける乱れの国際コロキウムについて                 | 東 大 小 倉 義 光                            |
| 15.50 ~ 16.20 (特別講演 2) | コペンハーゲン微細気象学会議の話                       | 農 技 研 井 上 栄 一                          |
| 16.20 ~ 16.50 (特別講演 3) | 最近における局地風の研究について                       | 東京管区气象台 河 村 武                          |
| 16.50 ~ 17.00          | 閉会のことば                                 |  |

## 第 10 回水理講演会開催

◀ 2 月 18 日 (金) ~ 19 日 (土) ▶

第 10 回水理講演会は明年 2 月 18 日 (金) ~ 19 日 (土) の両日土木学会において開催いたします。今回の課題は下記の 4 つです。講演申込みは 11 月 10 日で締切りました。

1. 期 日：1966 年 2 月 18 日 (金) ~ 19 日 (土)
2. 会 場：土木学会図書館講堂

3. 課 題：1. 地下水とその流出            3. 乱れに関連する水理学上の諸問題  
          2. 土砂輸送と河床変動            4. その他（自由課題）
4. 原稿受付締切：1965年12月20日（月）
5. その他：

○原稿用紙は土木学会に請求して下さい。前刷はタイプ印刷にいたします。

○講演会終了後ひきつづいて河川災害および水収支に関するシンポジウムを行ないません。

### 第3回理工学における同位元素研究発表会 —— 論文募集 ——

関係諸学・協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催いたします。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究およびその技術の基礎となる研究の発表と討論を行ない、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものであります。主催学・協会の会員各位におかれてはふるってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

1. 会 期：1966年4月19日（火）～21日（木）の予定
2. 会 場：東京大学
3. 共同主催者：土木学会、ほか40学協会
4. 発表論文：
  - (1) 内 容    それぞれの研究分野において、その専門的成果を得るにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、得られた専門的成果の報告も差しつかえありません。研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。
  - (2) 発表申込区分    プログラム編成の便宜上、つぎのように申込区分を設けます。
    - ① 放射性同位元素による放射線照射に関するもの（線源および装置に関するものを含む）
    - ② 放射性同位元素以外の放射線発生装置による放射線照射に関するもの（装置に関するものを含む）
    - ③ ラジオグラフィに関するもの（装置に関するものを含む）
    - ④ オートラジオグラフィに関するもの
    - ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
    - ⑥ 放射線利用機器に関するもの（エネルギー的利用、発光塗料なども含む）
    - ⑦ トレーサーの利用に関するもの（安定同位元素も含む）
    - ⑧ 分析に関するもの（安定同位元素も含む）
    - ⑨ 製造、分離、精製に関するもの（安定同位元素も含む）
    - ⑩ 化合物の合成、標識化に関するもの（安定同位元素も含む）
    - ⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの
    - ⑫ 安全取扱いに関するもの（遮蔽、施設、設備、器具、健康管理なども含む）
    - ⑬ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの
    - ⑭ その他
  - (3) 発表時間    1件の発表15分以内の予定
5. 発表者の資格：土木学会会員および発表申込者が所属する主催学・協会の年会（大会）等の規定または慣例に従う。
6. 発表申込：所定の申込書（1件1通）によりお申し込み下さい。所定の申込書は、下記にて請求して下さい。

東京都文京区駒込上富士前町31番地（理研内）日本放射性同位元素協会内  
理工学における同位元素研究発表会運営委員会    電話 東京 946-7111（代表）
7. 発表申込締切：1966年2月31日（月）必着
8. 講演要旨：講演要旨集を発行します。発表申込みがあり次第所定の原稿用紙（1200字程度）をお送りします。
9. 講演要旨原稿締切：1966年2月28日（月）必着
- その他：
  - (1) この研究発表会の運営は、主催学・協会より選出された各1名の委員で構成された運営委員会において行ないません。
  - (2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。なお、日本放射性同位元素協会の学術機関誌“RADIOISOTOPES”にはこの研究発表会の発表論文にかぎり、同協会会員外でも投稿することができます。
  - (3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意ください。

- i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合
- ii) 発表者の資格が、所属主催学・協会の規定または慣例に合致しない場合
- iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合

**北海道支部行事案内**（札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内・電話 札幌 83-4161）

**研究発表会，論文・報文・募集**

北海道支部年次研究発表会（2月下旬予定）に発表の論文または論文をつぎの要領で募集します。

1. 発 表：北海道支部刊行技術資料第 22 号に本印刷掲載
2. 内 容：土木技術論文，工事報告文
3. 応募方法：応募者は，題名，所属，氏名を支部事務局へ口頭または郵便でお申込みのこと。ただちに原稿執筆要領，所定の用紙を送付する。
4. 原稿締切：11月末日 発表者に感謝を呈し，特にすぐれたものには支部奨励賞（賞状，メダル，賞金）を贈り表彰する。

**関東支部行事案内**（東京都新宿区四谷丁目 土木学会事業課内・電話 東京 351-4133）

**コンクリート混和剤に関する講習会**

◀ 12月8日（木）10.00～16.00 ▶

——その製品と効用について——

コンクリート混和剤に関するゼミナール形式による講習会を開催いたしますから，ふるってご参加下さい。

1. 会 場：土木学会土木図書館講堂
  2. 定 員：180 名（先着順）
  3. 参 加 費：500 円
  4. 申 込：11月30日（火）までに参加費を添えて関東支部へお申し込み下さい。
  5. プログラム：
- |             |                              |             |      |
|-------------|------------------------------|-------------|------|
| 10.00～11.00 | ① 一般講演                       | 東大教授        | 国分正胤 |
| 11.10～11.40 | ② ダム関係                       | 電源開発KK      | 吉越盛次 |
| 11.50～12.20 | ③ コンクリート混和剤について              | 鹿島建設KK技術研究所 | 有泉昌昌 |
| 13.20～13.50 | ④ 舗装関係                       | 建設省土木研究所    | 伊東茂富 |
| 14.00～14.30 | ⑤ ベントナイト懸濁液と置換施工したコンクリートについて | KK間組営業部     | 小川猛夫 |
| 14.40～15.10 | ⑥ P C 関係                     | 国鉄大阪工事局     | 野口功  |
| 15.20～15.50 | ⑦ ニイトルジョンエイドについて             | 清水建設KK研究所   | 新見芳男 |

**関西支部行事案内**（大阪市東成区中道元町1丁目149番地 電話 大阪 981-2510，振替口座大阪 82599 番）

**（1）兵庫県を中心とする総合開発計画についての講演会** ◀ 11月19日（金）13.00～17.30 ▶

共 催：土木学会関西支部・兵庫県建設技術協会

1. 場 所：兵庫県民生部地下大ホール 電 神戸（34）7711 内線 915  
神戸市生田区下山手通4丁目 国鉄元町駅下車北へ徒歩7分 市電山手線下山手4丁目下車北へ3分
2. 題目と講師：

13.10～13.50	① 三但地域と阪神播磨地域を結ぶ道路計画について	土木学会関西支部長	玉井正彰
13.50～14.30	② 阪神播磨の開発計画について	兵庫県土木部道路課長	小笠原弘
14.40～15.20	③ 本州四国連絡橋の調査について	兵庫県企画部総合開発課課長補佐	菱川文博
15.20～16.00	④ 神戸市のマスタープランについて	近畿地建本州四国連絡道路調査事務所長	相良正次
	閉会挨拶	神戸市調査室長	山崎博
		兵庫県建設技術協会会長	松田仁
3. 映 画：16時～17時30分
  - ① 青い運河（活動する瀬戸内）（16ミリカラー 20分）
  - ② 阪神都市圏（16ミリカラー 20分）
  - ③ 播磨工業地帯（16ミリカラー 20分）
  - ④ 水（16ミリカラー 20分）
4. 定 員：450名

5. 聴 講：無料，来聴歓迎

(2) 高い盛土の沈下に関する研究会

◀ 11月26日(金) 13.00~16.00 ▶

主 催：土木学会関西支部 後 援：土質工学会関西支部

1. 場 所：三和銀行玉造支店3階ホール 電 大阪(761)6551  
 大阪市天王寺区玉造元町1の46 国鉄環状線玉造駅北口下車西へ30m

2. 題目と講師：

	換 拶		土木学会関西支部長	玉 井 正 彰
13.00~13.40	① 高い盛土の沈下に関する土質力学的考察		京都大学工学部教授 工博	赤 井 浩 一
13.40~14.20	② 道路からみた高い盛土の沈下について		日本道路公団高速道路試験所調査役	稲 田 倍 徳
14.20~15.00	③ 国鉄からみた高い盛土の沈下について		国鉄大阪工事局長 工博	西 亀 達 夫
15.00~16.00	質 疑 応 答			

3. 定 員：100名

4. 聴 覧：無料，来聴歓迎

(お願い) 各職場班では参加予定人員を11月16日(火)までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部までご一報をお願いいたします。

(3) プレート ガーダーの耐荷力に関する研究会

◀ 12月7日(火) 9.30~ ▶

共 催：土木学会関西支部・関西橋梁鉄骨溶接研究会

1. 場 所：大阪科学技術センター 8階小ホール 電・大阪(443)5321  
 大阪市西区靱1丁目118番地 靱公園北東隅 地下鉄本町駅北西約300m

2. 内 容：

9.30~9.35	換 拶		土木学会関西支部長	玉 井 正 彰
9.35~10.00	総 論		京都大学教授 工博	小 西 一 郎

第1部 プレートガーダーの耐荷力に関する諸外国の研究と示方書の紹介(○印は発表担当者)

(10.00~12.30)

- |                                     |         |                  |         |
|-------------------------------------|---------|------------------|---------|
| 1. Lehigh 大学における溶接プレートガーダーに関する一連の研究 | KK駒井鉄工所 | ○播本章一・石川島播磨重工業KK | 壺原博美    |
| 2. K.C. Rockey の研究                  |         | 三井造船KK           | 岡 田 岩   |
| 3. M. Skaloud の研究                   |         | 松尾橋梁KK           | 佐 藤 条 爾 |
| 4. C. Massonet の研究                  |         | 滝上工業KK           | 清 水 久 雄 |
| 5. D. Vasarhelyi 等の研究               |         | 滝上工業KK           | 清 水 久 雄 |
| 6. 各国示方書の紹介                         | KK呉造船所  | ○池田利博・日立造船KK     | 今 井 功   |

第2部 腹板座屈に関する実験的研究について

(13.30~15.00)

- |               |         |              |             |        |
|---------------|---------|--------------|-------------|--------|
| 1. 実験術と実験装置   | 川崎重工業KK | 赤尾 宏・KK栗本鉄工所 | 竹中応治・高田機工KK | 渡 辺 昭  |
| 2. 実験の結果とその考察 | 三菱重工業KK | ○松井友二・日本橋梁KK | 川上博夫・汽車製造   | KK片岡 敬 |

3. 定 員：100名

4. 聴 講：無料，来聴歓迎

5. テ キ ス ト：プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験(関西橋梁鉄骨溶接研究会)を使います。

(頒価 1000円，土木学会関西支部で頒布中ですが当日会場でも頒布致します)

(お願い) 各職場班では参加予定人員を11月27日(土)までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部までご一報をお願いいたします。

(4) 耐震設計講習会

◀ 12月15日(水)~16日(木) 9.30~16.30 ▶

さきに10月18,19の両日東京において行なわれ好評を得ました耐震設計講習会を，学会本部の希望を合わせまして関西支部でも下記のとおり開催することにいたしました。ふるってご参加下さい。

記

1. 場 所：大阪科学技術センター8階大ホール 電 大阪(443)5321  
 大阪市西区靱1丁目118番地 靱公園北東隅 地下鉄本町駅北西約300m

2. 題目と講師：

第1日(12月15日)



- 9.35～9.40 開 会 挨拶  
 9.40～11.00 ① 地 震  
 11.10～12.30 ② 水 道 施 設  
 13.30～14.20 ③ 設 計 震 度  
 14.30～15.20 ④ 地 震 時 水 圧  
 15.30～16.20 ⑤ 地 震 時 土 圧 ・ 土 の 支 持 力

- 土木学会関西支部長 玉 井 正 彰  
 建設省建築研究所 表 俊一郎  
 東京都水道局 中 川 義 徳  
 東京大学生産技術研究所 久 保 慶三郎  
 京都大学工学部 後 藤 尚 男  
 国鉄構造物設計事務所 田 村 浩 一

第2日(12月16日)

- 9.40～11.00 ⑥ ダ ム  
 11.10～12.30 ⑦ 港 湾 構 造 物  
 13.30～14.20 ⑧ 安 定 と 安 全 度  
 14.30～15.20 ⑨ 基 礎 工, 橋 台 お よ び 橋 脚  
 15.30～16.20 ⑩ 各 種 構 造 物  
 16.20～16.25 閉 会 挨拶

- 電源開発KK 吉 越 盛 次  
 運輸省港湾技術研究所 林 聡  
 国鉄構造物設計事務所 尾 坂 芳 夫  
 京都大学工学部 後 藤 尚 男  
 八千代エンジニアリング 小 寺 重 郎  
 土木学会関西支部幹事長 松 尾 新一郎

3. 定 員 : 300 名

4. 参 加 費 : 1 0 0 0 円 (テキスト代含む)

5. 申 込 期 限 : 1965 年 11 月 30 日 (火)

6. 申 込 方 法 : 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)し, 参加費 1 0 0 0 円を添えて 11 月 30 日 (火) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。

ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(5) 学 生 映 画 会

参加費: 無料, 正会員の方の参加も歓迎します。

(第2回)

◀ 11 月 6 日 (土) 13.00 ~ ▶

場 所 : 京都大学工学部土木総合館 201 号室 電 京都 (77) 8111 京都市左京区吉田本町 市電百万遍下車  
 上映映画: ワイドフランジ——ヘドロに建つ製鉄所—— (16 ミリカラーワイド 55 分), 超高層建築第 1 号 (16 ミリカラーワイド 33 分), シールド工法 (16 ミリカラーワイド 20 分) 定 員 : 150 名

(第3回)

◀ 11 月 9 日 (火) 13.00 ~ ▶

場 所 : 立命館大学理工学部 6 号館 61 号室 電 京都 (44) 2181 京都市北区等持院北町 市バス立命理工前下車  
 上映映画: (第2回) と同一内容につき省略 定 員 : 200 名

(第4回)

◀ 12 月 4 日 (土) 13.00 ~ ▶

場 所 : 京都大学工学部土木総合館 201 号室 電 京都 (77) 8111 京都市左京区吉田本町 市電百万遍下車  
 上映映画: サンドドレン工法の実際 (16 ミリカラー 25 分), 羽田モノレール (16 ミリカラー 25 分), 美しい国土——その生いたち—— (16 ミリカラー 45 分) 定 員 : 150 名

(第5回)

◀ 12 月 7 日 (火) 13.00 ~ ▶

場 所 : 立命館大学理工学部 6 号館 61 号室 電 京都 (44) 2181 京都市北区等持院北町 市バス立命理工前下車  
 上映映画: (第4回) と同一内容につき直略 定 員 : 200 名

(付) テキスト頒布について

(土木学会関西支部刊行)

構造工学	頒 価	700 円	送 料	100 円
道路工学	"	500 円	"	90 円
最近の交通問題とその対策	"	400 円	"	110 円

(土木学会水理委員会刊行)

64 年水工学シリーズAコース	"	1 100 円	"	80 円 (残部僅少)
" Bコース	"	1 300 円	"	90 円 ( " )

65 年水工学研修会講義集ダム・河川コース 頒 価 2 0 0 0 円 B 海岸港湾コース 頒 価 1 5 0 0 円 送料 学会負担

(関西橋梁鉄骨溶接研究会刊行)

プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験 頒 価 1 0 0 0 円 送料 100 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内(広島市基町10の52 広島県土木建築部道路課内 電話 広島 28-2111)

中国四国支部大会

◀ 12月1日(水), 2日(木), 3日(金) ▶

開催場所: 山口県自治会館3階講堂(山口市大字上字野令殿島 1812-1, 県庁前)

日 程: 支部総会 12月1日(水) 9.00~10.00  
 学術講演会 同 10.00~17.00 (26題)  
 特別講演会 12月2日(木) 9.30~17.00 (5題) 土質工学会と共催  
 見学会 12月3日(金) 9.00~14.00 管野ダム

- 特別講演
1. 杭の支持力について 京都工芸繊維大学 山 肩 法 男
  2. 欧米における交通問題 広島県土木建築部長 袴 田 恒 男
  3. 長大法面の安定工法 土木研究河川部長 谷 口 敏 男
  4. モントリオール国際土質工学会に参加して 徳島大学工学部 小 田 英 一
  5. 斜め吊材をもつアーチ系橋梁について 名古屋大学工学部 成 岡 昌 夫

○見学会 錦川総合開発局管野ダム工事(9.00 自治会館前発~14.00 徳山駅解散)

参加申込方法: 会費: 200円(バス代その他) 土木学会中国四国支部(電話 28-2111)へ11月15日までにお申込み下さい。

注: なお講演概要は実費200円にて当日会場で頒布いたします。

第1回 Network 技術講習会

◀ 11月17日(水)~19日(金) ▶

主 催: 日刊建設工業新聞社 後 援: 日本建築学会・土木学会

会 場: 東京・都道府県会館

参加費: 1万1000円

問合せ先: 日刊建設工業新聞社編集局企画部(電 東京 441-4652~4)

8 学 会 互 報 欄

◀ 日本建築学会(東京都中央区銀座3の1 電 東京 535-6511)

新構造規準講習会: 期日; 11月8~9日東京, 11月12~13日大阪, 11月25~26日名古屋, 12月3~4日北九州, 12月6~7日広島, 2月3~4日札幌, 2月7~8日仙台, 会費; 会員1000円, 会員外1500円, 申込先; 会場が所属する日本建築学会各支部

鉄筋コンクリート工事講習会: 期日; 11月4~5日東京, 11月10~11日大阪・京都, 11月12~13日神戸・名古屋, 11月15~16日高松・長野, 11月18~19日松山, 金沢, 11月24~25日広島, 11月26~27日松江, 11月29~30日福岡, 12月2~3日熊本, 1月25~26日仙台・横浜, 1月28~29日青森, 2月1~2日札幌, 2月4~5日旭川, 会費; 会員1600円, 会員外2000円, 申込先; 会場が所属する日本建築学会各支部

◀ 日本機械学会(東京都港区赤坂一ツ木町89 電東京 582-6911)

内燃機関の最近の進歩に関する講習会(12月3~4日 9.30・全通会館ホール・会費2000円・申込先 日本機械学会へ11月25日まで)

最近の自動車工業に関する講習会(1966年1月21~22日 9.00 ・発明会館ホール・会費2000円・申込先日本機械学会へ1月10日まで)

各種荷役・運搬機械に関する講習会(1966年1月26~27日 9.00 ・発明会館ホール・会費2000円・申込先日本機械学会へ1月15日まで)